

2020年度第2四半期 線区別の収支とご利用状況について

(4月から9月までの実績)

2020年12月2日



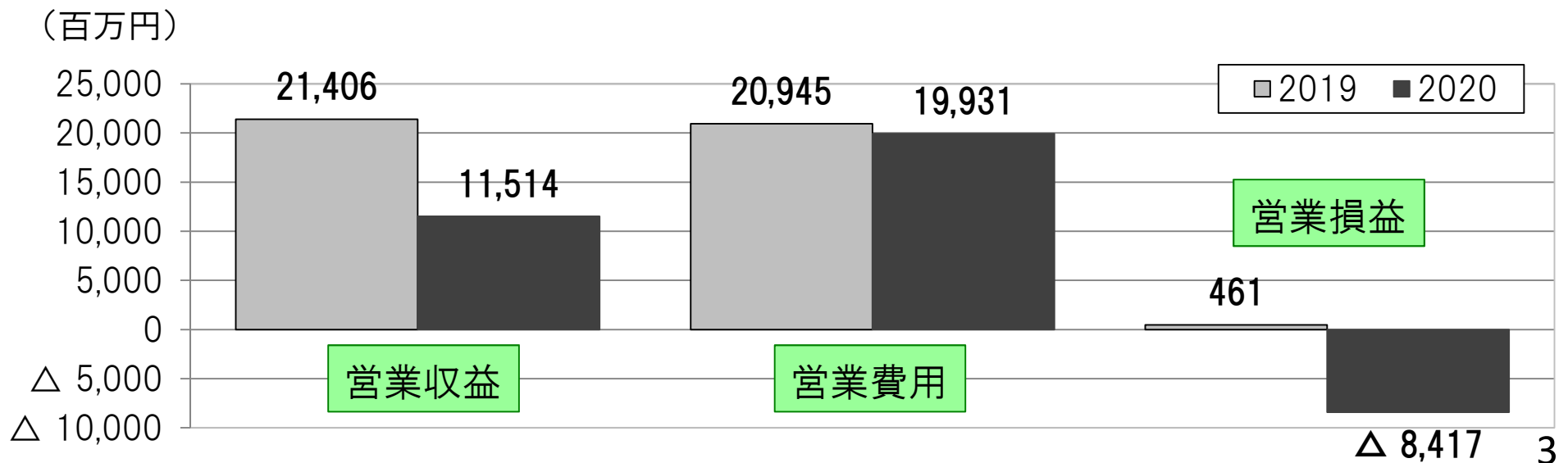
1 2020年度第2四半期のポイント ①

- 新型コロナウイルス感染症の影響により営業収益が大幅に減少し、営業損失は合計で38,330百万円となり、16,498百万円拡大しました。損失拡大幅は、インバウンド等の観光や出張のご利用が多く営業収益の規模が大きい [13~20] の各線区が15,639百万円と大部分を占め、このうち空港アクセスのご利用等が減少した [17] 札幌圏が8,878百万円と、半分以上となっています。
- 営業損失は、多くの線区で7月から9月までの方が4月から6月までと比較して減少しました。
- ご利用状況は、営業収益と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、[17] 札幌圏や [20] 新幹線（新青森～新函館北斗）をはじめ、ほぼ全ての線区で輸送密度が大幅に減少しました。

1 2020年度第2四半期のポイント ②

○ [17] 札幌圏（4線区）の営業損益が赤字

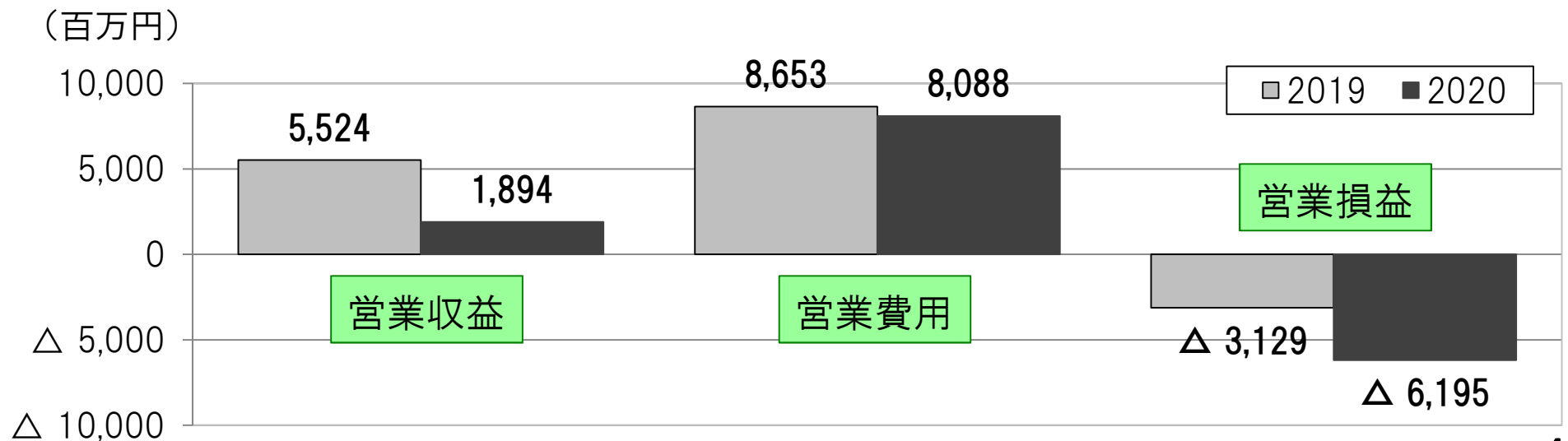
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が大幅に減少したことにより、9,892百万円減少。
- ▶ 営業費用は、橋梁の修繕が減少したことやご利用の減少にあわせてきっぷの他社発売による手数料支払いが減少したこと、列車の減便・減車を実施したことで動力費が減少したこと等により、1,014百万円減少。
- ▶ 以上により、前年度第2四半期時点では黒字であった営業損益は8,878百万円悪化。【8,417百万円の赤字】



1 2020年度第2四半期のポイント ③

○ [20] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損失が拡大

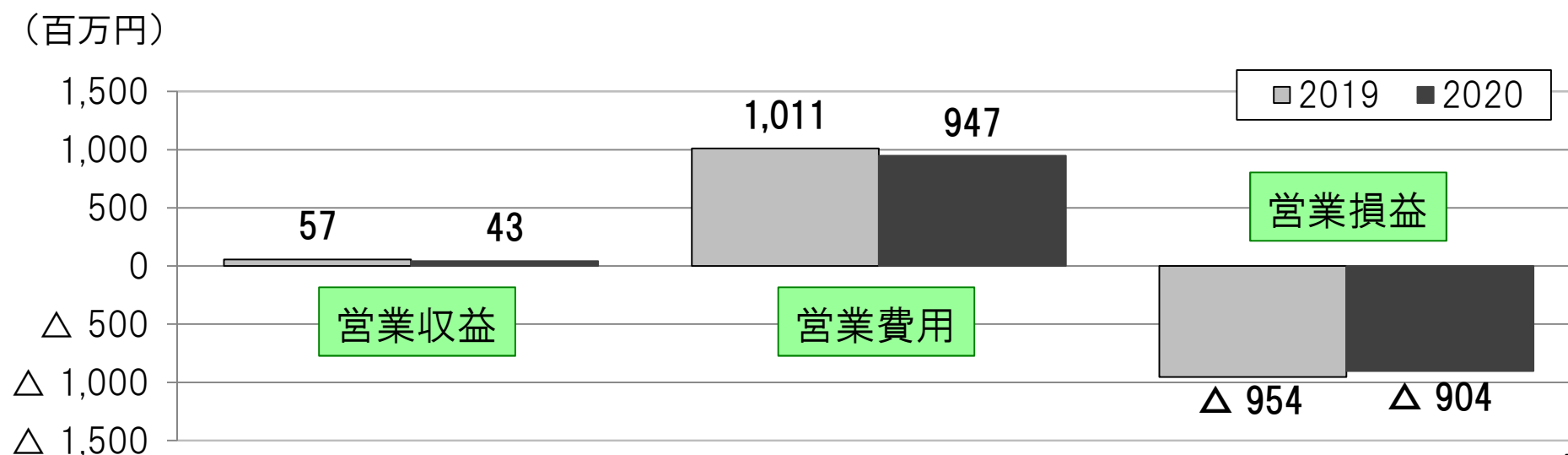
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が大幅に減少したことにより、3,631百万円減少。
- ▶ 営業費用は、車両の修繕が減少したことや列車の減便を実施したこと、他社車両の使用料が減少したこと、車両の減価償却費が減少したこと等により、565百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は3,066百万円拡大。



1 2020年度第2四半期のポイント④

○ [1～3] 赤・茶線区全体の営業損失が減少

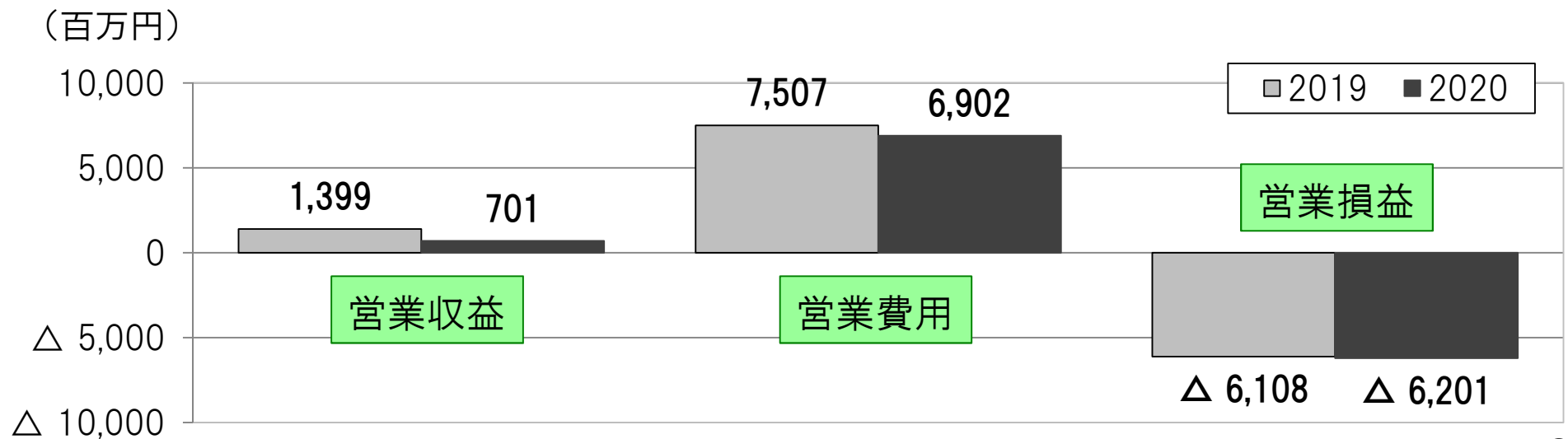
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が減少したこと等により、15百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[1] 根室線（富良野～新得）において列車運行区間（富良野～東鹿越）の線路の修繕が減少したことや、[2] 留萌線（深川～留萌）において線路の修繕が減少したこと等により、64百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は50百万円減少。



1 2020年度第2四半期のポイント ⑤

○ [4～12] 黄線区全体の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が減少したことにより、698百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[10・11] 石北線（新旭川～上川、上川～網走）において線路や橋梁の修繕が減少したことや、[12] 富良野線（富良野～旭川）において線路や橋梁の修繕が減少したこと等により、605百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は93百万円拡大。



1 2020年度第2四半期のポイント ⑥

(百万円)

	[17] 札幌圏	[20] 新幹線	[1~3] 赤・茶線区	[4~12] 黄線区	他
営業収益	11,514	1,894	43	701	5,392
(前年同期比)	(△9,892)	(△3,631)	(△15)	(△698)	(△6,656)
営業費用	19,931	8,088	947	6,902	22,005
(前年同期比)	(△1,014)	(△565)	(△64)	(△605)	(△2,144)
営業損益	△8,417	△6,195	△904	△6,201	△16,613
(前年同期比)	(△8,878)	(△3,066)	(50)	(△93)	(△4,511)

2 その他増減の大きな線区

○ [13] 石勝・根室線（南千歳～帯広）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が減少したことにより、1,522百万円減少。
- ▶ 営業費用は、線路や橋梁の修繕が減少したことや、特急列車の減便・減車を実施したことで動力費が減少したこと等により、271百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は1,251百万円拡大。

○ [16] 函館線（岩見沢～旭川）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響で運輸収入が減少したことにより、1,492百万円減少。
- ▶ 営業費用は、ご利用の減少にあわせてきっぷの他社発売による手数料支払いが減少したことや、特急列車の減便を実施したことで動力費が減少したこと等により、229百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は1,263百万円拡大。

3 線区別の収支とご利用状況

別紙のとおり

2020年度第2四半期〔4～9月〕 線区別の収支とご利用状況（対2019年度第2四半期）

線名・区間			収支（百万円）									輸送密度 （人／日）		
			営業収益 （A）			営業費用 （B）			営業損益 （A）－（B）					
			2019年	2020年	増減	2019年	2020年	増減	2019年	2020年	増減			
1	根室線	富良野～新得	17	10	△ 6	374	334	△ 41	△ 358	△ 323	34	96	64	△ 32
2	留萌線	深川～留萌	20	14	△ 7	284	268	△ 16	△ 264	△ 255	9	160	94	△ 66
3	日高線	鶴川～様似	20	19	△ 2	352	345	△ 8	△ 332	△ 326	6	118	102	△ 16
1～3計			57	43	△ 15	1,011	947	△ 64	△ 954	△ 904	50			
4	宗谷線	名寄～稚内	217	101	△ 116	1,294	1,236	△ 59	△ 1,077	△ 1,135	△ 58	358	151	△ 207
5	根室線	釧路～根室	94	47	△ 47	643	629	△ 14	△ 549	△ 582	△ 32	291	158	△ 133
6	根室線	滝川～富良野	76	28	△ 47	519	518	△ 2	△ 444	△ 489	△ 46	482	208	△ 274
7	室蘭線	沼ノ端～岩見沢	60	45	△ 15	588	533	△ 54	△ 528	△ 488	39	441	331	△ 110
8	釧網線	東釧路～網走	177	74	△ 103	851	821	△ 30	△ 674	△ 748	△ 73	456	245	△ 211
9	日高線	苫小牧～鶴川	25	22	△ 2	192	178	△ 14	△ 167	△ 155	12	614	538	△ 76
10	石北線	新旭川～上川	135	65	△ 71	625	514	△ 112	△ 490	△ 449	41	1,151	607	△ 544
11	石北線	上川～網走	416	199	△ 217	2,076	1,875	△ 201	△ 1,660	△ 1,675	△ 16	786	404	△ 382
12	富良野線	富良野～旭川	199	120	△ 79	718	599	△ 119	△ 519	△ 479	40	1,642	1,120	△ 522
4～12計			1,399	701	△ 698	7,507	6,902	△ 605	△ 6,108	△ 6,201	△ 93			
1～12計			1,456	744	△ 712	8,518	7,849	△ 669	△ 7,062	△ 7,105	△ 43			
13	石勝・根室線	南千歳～帯広	2,626	1,103	△ 1,522	4,103	3,832	△ 271	△ 1,477	△ 2,729	△ 1,251	3,500	1,559	△ 1,941
14	室蘭線	長万部～東室蘭	1,486	617	△ 868	2,314	1,940	△ 374	△ 828	△ 1,323	△ 495	5,077	2,015	△ 3,062
15	室蘭線	室蘭～苫小牧	1,667	777	△ 891	2,962	2,469	△ 493	△ 1,294	△ 1,693	△ 398	7,021	3,255	△ 3,766
16	函館線	岩見沢～旭川	2,649	1,157	△ 1,492	3,993	3,764	△ 229	△ 1,344	△ 2,606	△ 1,263	8,315	3,804	△ 4,511
17	札沼線	桑園～医療大学	21,406	11,514	△ 9,892	20,945	19,931	△ 1,014	461	△ 8,417	△ 8,878	19,321	12,207	△ 7,114
	函館線	札幌～岩見沢										45,030	26,797	△ 18,233
	千歳・室蘭線	白石～苫小牧										49,110	24,077	△ 25,033
	函館線	小樽～札幌										49,184	28,425	△ 20,759
18	宗谷線	旭川～名寄	320	177	△ 142	1,473	1,379	△ 94	△ 1,153	△ 1,202	△ 49	1,462	815	△ 647
19	根室線	帯広～釧路	795	453	△ 342	2,643	2,540	△ 102	△ 1,848	△ 2,088	△ 240	1,599	1,011	△ 588
20	新幹線	新青森～新函館北斗	5,524	1,894	△ 3,631	8,653	8,088	△ 565	△ 3,129	△ 6,195	△ 3,066	6,093	1,328	△ 4,765
13～20計			36,473	17,692	△ 18,781	47,086	43,944	△ 3,142	△ 10,613	△ 26,252	△ 15,639			
21	函館線	長万部～小樽	202	109	△ 93	1,119	1,333	214	△ 917	△ 1,224	△ 307	622	360	△ 262
22	函館線	函館～長万部	2,293	993	△ 1,300	5,409	4,724	△ 685	△ 3,115	△ 3,731	△ 615	3,901	1,474	△ 2,427
21～22計			2,495	1,102	△ 1,393	6,528	6,057	△ 471	△ 4,032	△ 4,954	△ 922			
合計			40,434	19,543	△ 20,891	62,265	57,873	△ 4,393	△ 21,831	△ 38,330	△ 16,498	5,454	2,761	△ 2,693
一	札沼線	医療大学～新十津川	10	5	△ 5	134	23	△ 111	△ 124	△ 18	106	73	112	39

- (注) 1. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数）。
2. 合計の輸送密度には、バス代行を継続的に実施している区間のある日高線（鶴川～様似）と根室線（富良野～新得）の実績を含まずに算出しています。
3. 合計の運輸収入・輸送密度には、2020年5月7日に鉄道事業を廃止した札沼線（北海道医療大学～新十津川）の実績を含んで算出しています。

2020年度第2四半期〔4～9月〕 線区別の収支とご利用状況

線 名・区 間	営 業 キ ロ (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)					営業係数(円)		
			営 業 収 益 (A)	営 業 費 用		営 業 損 益		管 理 費 除 く (B)/(A)	管 理 費 含 む (D)/(A)	
				鉄 道 計 (B)	管 理 費 (C)	営 業 費 用 (D)=(B)+(C)	管 理 費 除 く (A)-(B)			管 理 費 含 む (A)-(D)
1 根室線 富良野～新得	81.7	64	10	246	88	334	△ 236	△ 323	2,380	3,226
2 留萌線 深川～留萌	50.1	94	14	228	40	268	△ 214	△ 255	1,671	1,965
3 日高線 鶴川～様似	116.0	102	19	106	238	345	△ 88	△ 326	572	1,852
1～3 計	247.8		43	581	366	947	△ 538	△ 904	1,363	2,222
4 宗谷線 名寄～稚内	183.2	151	101	1,069	167	1,236	△ 968	△ 1,135	1,060	1,225
5 根室線 釧路～根室	135.4	158	47	539	90	629	△ 492	△ 582	1,147	1,338
6 根室線 滝川～富良野	54.6	208	28	449	69	518	△ 420	△ 489	1,579	1,822
7 室蘭線 沼ノ端～岩見沢	67.0	331	45	464	69	533	△ 419	△ 488	1,031	1,184
8 釧網線 東釧路～網走	166.2	245	74	708	114	821	△ 634	△ 748	963	1,117
9 日高線 苫小牧～鶴川	30.5	538	22	160	17	178	△ 138	△ 155	723	800
10 石北線 新旭川～上川	44.9	607	65	449	65	514	△ 384	△ 449	692	791
11 石北線 上川～網走	189.1	404	199	1,627	248	1,875	△ 1,427	△ 1,675	817	941
12 富良野線 富良野～旭川	54.8	1,120	120	516	84	599	△ 395	△ 479	429	499
4～12 計	925.7		701	5,980	922	6,902	△ 5,279	△ 6,201	853	984
1～12 計	1,173.5		744	6,561	1,288	7,849	△ 5,817	△ 7,105	882	1,055
13 石勝・根室線 南千歳～帯広	176.2	1,559	1,103	3,363	470	3,832	△ 2,259	△ 2,729	305	347
14 室蘭線 長万部～東室蘭	77.2	2,015	617	1,718	222	1,940	△ 1,101	△ 1,323	278	314
15 室蘭線 室蘭～苫小牧	65.0	3,255	777	2,173	296	2,469	△ 1,397	△ 1,693	280	318
16 函館線 岩見沢～旭川	96.2	3,804	1,157	3,290	474	3,764	△ 2,133	△ 2,606	284	325
17 札沼線 函館線 千歳・室蘭線 函館線	桑園～医療大学	28.9	12,207							
	札幌～岩見沢	40.6	26,797							
	白石～苫小牧	68.0	24,077							
	小樽～札幌	33.8	28,425							
18 宗谷線 旭川～名寄	76.2	815	177	1,186	193	1,379	△ 1,009	△ 1,202	670	779
19 根室線 帯広～釧路	128.3	1,011	453	2,213	328	2,540	△ 1,760	△ 2,088	489	561
20 新幹線 新青森～新函館北斗	148.8	1,328	1,894	6,783	1,306	8,088	△ 4,889	△ 6,195	358	427
13～20 計	939.2		17,692	38,124	5,820	43,944	△ 20,432	△ 26,252	215	248
21 函館線 長万部～小樽	140.2	360	109	1,178	155	1,333	△ 1,069	△ 1,224	1,079	1,220
22 函館線 函館～長万部	147.6	1,474	993	4,129	595	4,724	△ 3,136	△ 3,731	416	476
21～22 計	287.8		1,102	5,307	750	6,057	△ 4,205	△ 4,954	481	549
合 計	2,400.5	2,761	19,543	50,013	7,860	57,873	△ 30,470	△ 38,330	256	296
一 札沼線 医療大学～新十津川	47.6	112	5	20	3	23	△ 16	△ 18	419	472

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

鉄 道 事 業 計	2,400.5	—	21,122	—	—	59,797	—	△ 38,675	—	—
-----------	---------	---	--------	---	---	--------	---	----------	---	---

(注) 1. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従事員に係る、人件費や物件費などのことです。
2. 営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。